

7. 第2部：報告

「輸血医療に関する総合的調査」

産業医科大学病院 臨床検査・輸血部

山口 純子

2024年度
第28回福岡県合同輸血療法委員会

輸血医療に関する総合的調査

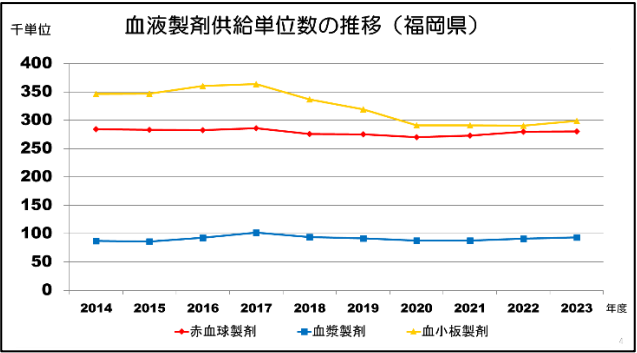
産業医科大学病院 臨床検査・輸血部
山口 純子

使用適正化に関するアンケート

調査項目

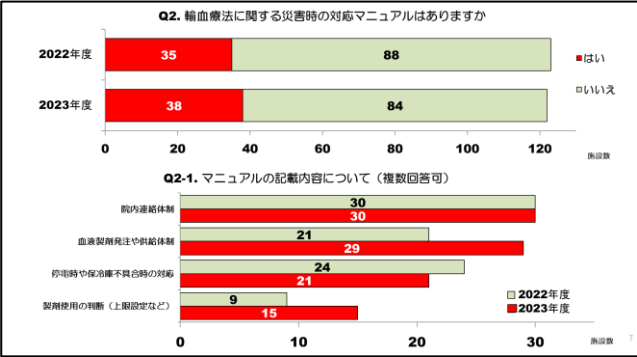
- 参加病院の概要について
輸血実施件数, 手術件数 など
- 輸血管理体制について
輸血管理料, 学会認定看護師など
- 血液製剤の使用適正化について
赤血球, 新鮮凍結血漿, 血小板, 廃棄など
- アルブミン・免疫グロブリン製剤について

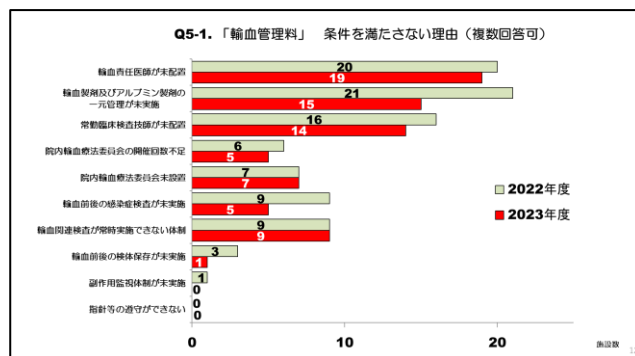
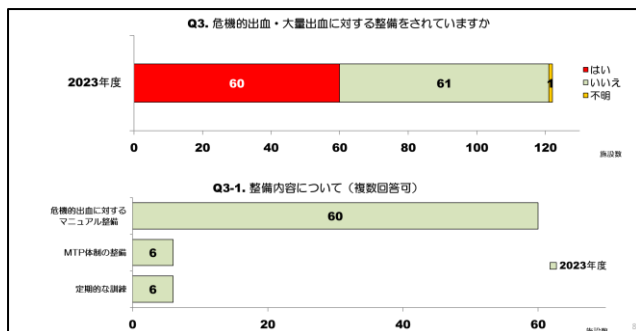
輸血業務に関するアンケート集計結果										
	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2023 年度
対象医療機関	126	126	125	126	126	125	125	124	124	124
回答数	122	118	122	123	123	123	124	123	123	122
回答率	97%	94%	98%	98%	98%	98%	99%	99%	99%	98%
回答者 医師	5	4	6	3	3	4	3	2	2	1
検査技師	110	110	103	112	113	111	109	114	111	111
薬剤師	4	4	4	4	3	2	3	1	1	1
看護師	2		1	1	1	1	1	1	1	1
事務	1		8	3	3	5	8	5	7	7



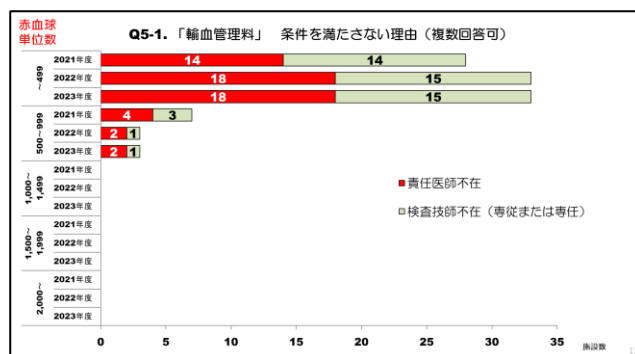
アンケート実施病院への供給状況			
供給医療機関総数		アンケート実施医療機関：124	
477		アンケート回答医療機関：122	
供給単位数（％）			
2023年度供給（単位）		アンケート実施	アンケート回答
総供給数	672,713	644,657（95.8）	624,590（94.4）
赤血球製剤	280,475	259,820（92.6）	259,056（92.4）
血漿製剤	93,473	91,830（98.2）	91,826（98.2）
血小板製剤	298,765	293,255（98.1）	293,135（98.1）

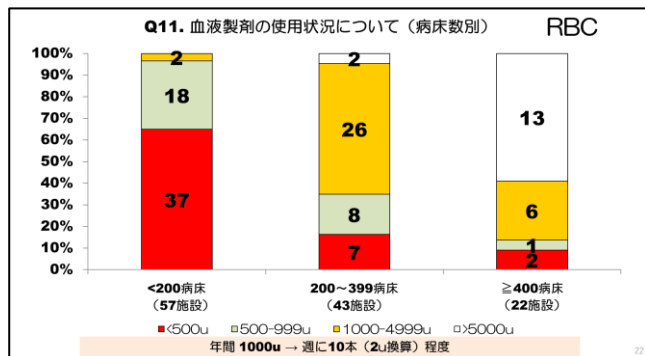
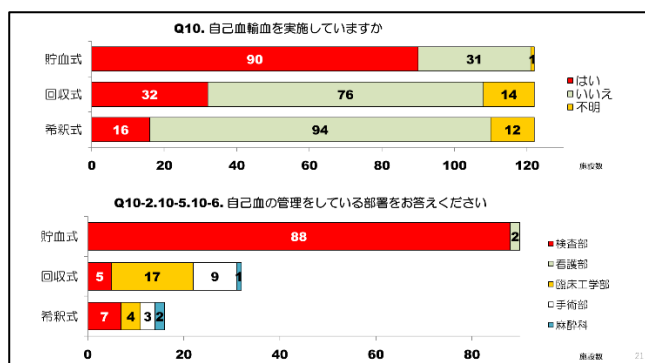
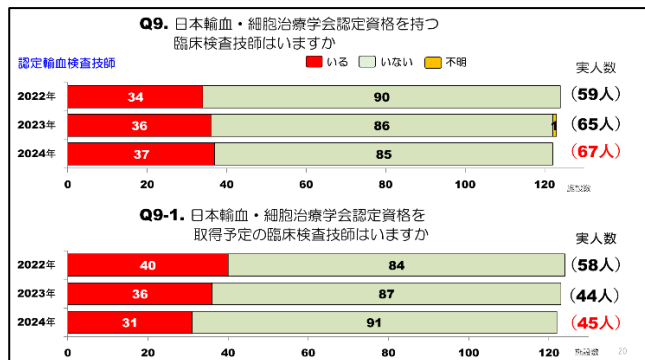
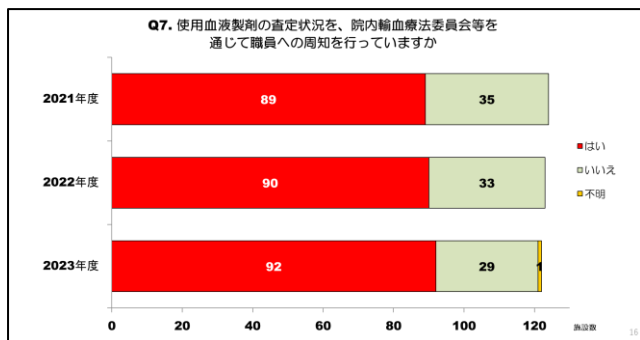
福岡県における診療状況			
	2012年度 （10年前）	2022年度	2023年度
救命救急センター	18施設	18施設	16施設
心臓・大血管手術	26施設	25施設	23施設
肝移植	3施設	1施設	1施設
腎移植	6施設	5施設	5施設
心臓手術	22施設 （3,941件）	21施設 （3,283件）	19施設 （2,784件）
造血幹細胞移植	13施設 （417件）	15施設 （316件）	15施設 （313件）
血漿交換	26施設 （903件）	31施設 （942件） 不明含む	29施設 （940件） 不明含む
救急医療の指定	1次	1施設	0施設
	2次	95施設	93施設
	3次	10施設	10施設
災害拠点病院の指定	有	34施設	34施設





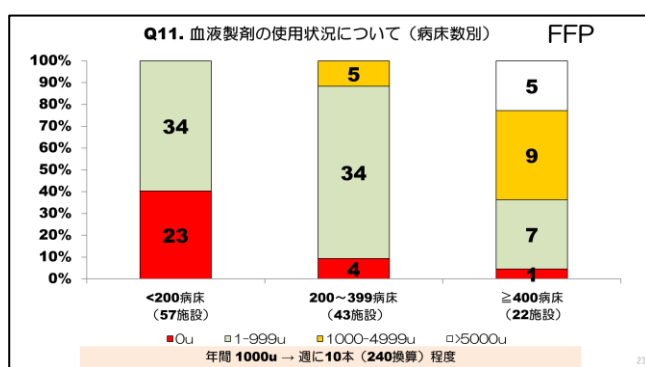
輸血管理料に関する施設基準		
	輸血管理料Ⅰ	輸血管理料Ⅱ
点 数	220点	110点
輸血責任医師	責任者として専任の常勤医師	責任を有する常勤医師
臨床検査技師	専任の常勤臨床検査技師が1名以上	専任の常勤臨床検査技師が1名以上
一元管理	輸血用血液製剤及びアルブミン製剤（加熱人血漿たん白を含む）	輸血用血液製剤
輸血関連検査	ABO血液型、RhD血液型、交差適合試験、間接Cooms検査、不規則抗体検査	
輸血療法委員会	年6回以上開催（血液製剤の使用実態の報告等）	
感染症・副作用	輸血前後の感染症検査の実施、輸血前の採体の保存、副作用監視体制	
血液製剤の使用	「輸血療法の実施に関する指針」及び「血液製剤の使用指針」の一部改正について 遵守し適正に実施されていること	

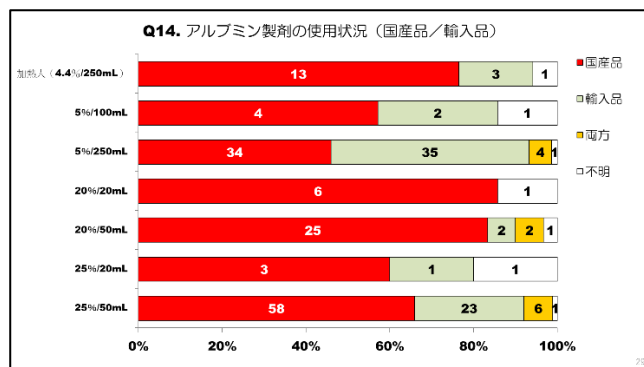
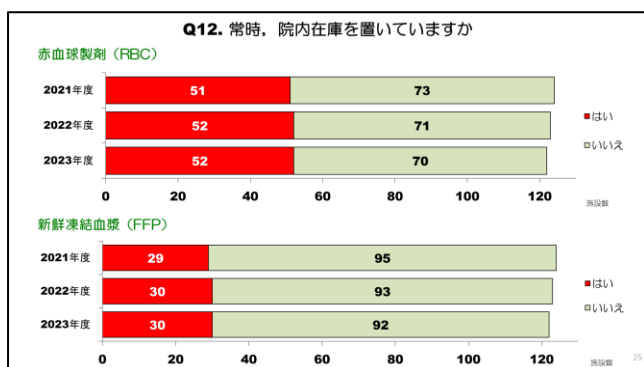
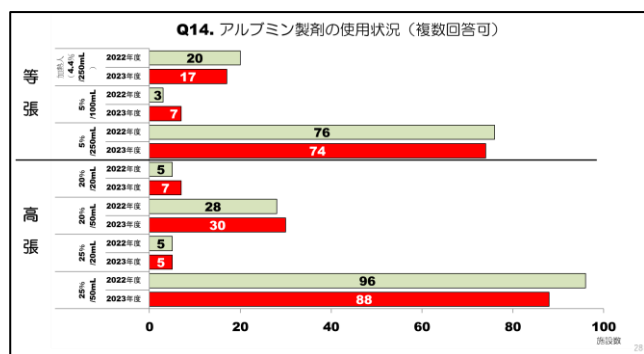
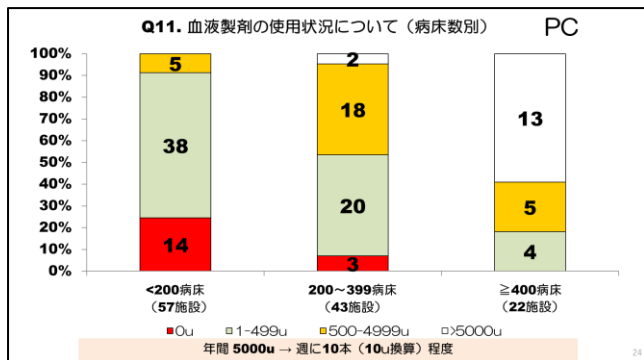




Q8-2. 学会認定資格を持つ看護師について、輸血を実施する部署（診療科）の在籍年数

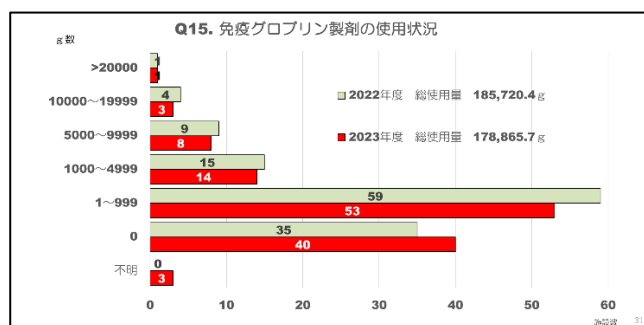
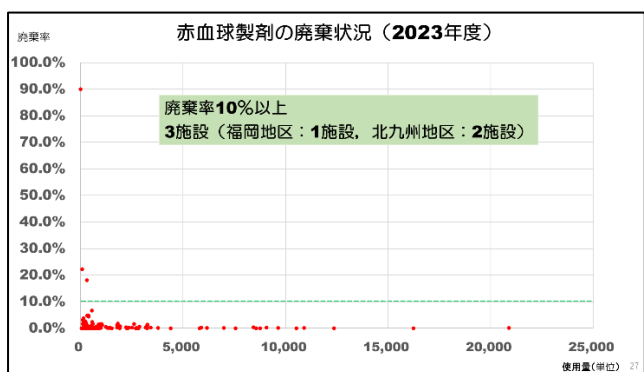
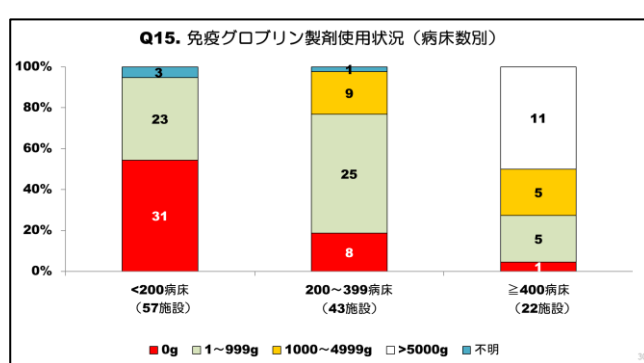
	5年未満	5年から9年	10年以上	不明	合計
学会認定臨床輸血看護師	14人 (23.3%)	6人 (10.0%)	40人 (66.7%)	0人	60人
学会認定自己血輸血看護師	9人 (42.8%)	3人 (14.%)	9人 (42.8%)	0人	21人
学会認定アフェレシスナース	0人	0人	1人	0人	1人

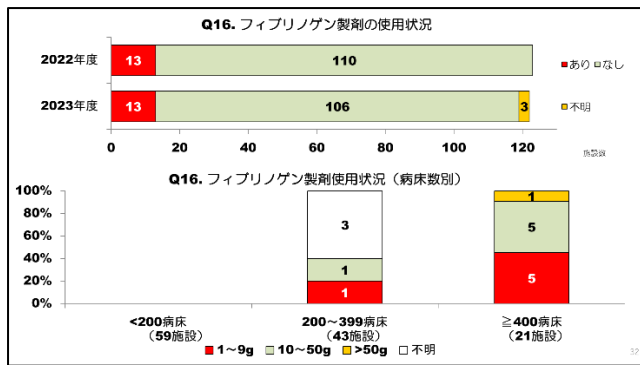




Q13. 赤血球・新鮮凍結血漿・血小板製剤（日赤血）及び自己血を有効期限切れ等の理由で廃棄処分しましたか？

	年度	廃棄合計（単位）	供給単位に占める廃棄の割合（％）
赤血球製剤	2021	2,299	0.9
	2022	1,822	0.7
	2023	902	0.3
新鮮凍結血漿	2021	650	0.7
	2022	811	0.9
	2023	768	0.8
血小板製剤	2021	925	0.3
	2022	780	0.3
	2023	790	0.3





今年度

アンケートにご回答いただいた施設数**122** 施設

病院名公表の承諾をいただいた施設数**120** 施設

アンケートにご協力いただきまして
ありがとうございました。

Q16.フィブリノゲン製剤の使用状況

医療機関	救命救急センター	心臓・大血管手術	心臓手術 (件数/年)	総使用量	投与前フィブリノゲン 値測定
A 病院	無	無	無	3 g	○
B 病院	有	有	有 (126件)	3 g	○
C 病院	無	有	有 (114件)	6 g	○
D 病院	無	無	無	6 g	○
E 病院	有	有	有 (86件)	6 g	○
F 病院	無	無	無	8 g	○
G 病院	有	有	有 (134件)	25 g	○
H 病院	有	有	有 (327件)	27 g	○
I 病院	有	有	有 (243件)	30 g	○
J 病院	有	有	有 (75件)	36 g	○
K 病院	無	有	有 (89件)	43 g	不明
L 病院	有	有	有 (322件)	46 g	○
M 病院	無	無	無	79 g	○

